

令和元年度 自己点検・自己評価
ユマニテク看護助産専門学校 看護学科・助産専攻科

評価基準：当てはまる 4点、ほぼ当てはまる 3点、やや当てはまる 2点、当てはまらない 1点

大項目	評価対象項目		小評価	評価
I 教育 理念 ・ 目的	1	教育理念・目的は法的整合性と独自性があるか。	4	3.8
	2	教育理念・目的を周知しているか。	4	
	3	専門職についての考え方を示しているか。	4	
	4	看護・助産教育についての考え方を示しているか。	4	
	5	教育観・学生観を示しているか。	4	
	6	教育理念・目的を教職員・学生が認識をし、達成出来ているか。	3	
	総評	全体的には昨年度と同様に高い評価を維持している。教育理念については、高校生やその保護者、進路担当者に対し、継続的に学校案内やガイダンス、ホームページに明示している。学内においても、説明会、相談会、高校訪問、オープンキャンパスなどの機会を活用し明示している。入学した学生や在籍している学生に対しても、年度初めに周知している。また、実習に望む際にはより専門職者としての礼節や技術の必要性、個人だけではなく社会に対する職業であることをしっかり伝えている。臨床現場からは1) 主体性2) コミュニケーション力3) 気づきに繋がる情報化と推論力の強化が必要である。また、年度末に報告・評価を行っている。今年度より3ポリシーを策定しカリキュラム改正にむけて見直しに取り組んでいる。		
II 教育 目標	7	教育目標は、理念・目的と一貫性があるか。	4	3.5
	8	教育目標の実現可能性はあるか。	4	
	9	教育目標は到達しているか。	3	
	10	教育目標に継続教育が反映されているか。	3	
	総評	教育目標は理念・目的と一貫性があり実現可能なものである。しかし、教員間における情報交換内での全体把握として確認レベルである。今後は教育目標の到達度を集計評価し、継続教育に反映できるシステム構築が必要である。又上記と同様目標の見直しが必要である。		
III 教育 課程 ・ 経営	11	教育課程は看護学の内容・求める学習の到達及び学生の成長発達について明確な考え方と根拠をもって編成されているか。	3	3.8
	12	教育理念・目的・目標にあった科目設定をしているか。	4	
	13	教育課程・授業・評価に一貫性があるか。	4	
	14	科目設定に学校特色を盛り込んでいるか。	4	
	15	科目設定に社会のニーズを考慮しているか。	3	
	16	授業計画に基づいて授業を実施しているか。	4	
	17	指定規則に合致した単位・時間設定か。	4	
	18	単位履修の方法とその制約について、教員学生双方がわかるように明示してあるか。	4	
	19	大卒の入学生に単位の認定を行っているか。	4	
	20	評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われているか。	4	
	21	単位認定のための評価基準と方法を明示しているか。	4	
	22	教員が自己研鑽出来る環境を整えているか。	4	
	23	教員が専門性を発揮出来るように、教員の担当科目と時間数を配分しているか。	4	
	24	科目を担当する講師は、その分野を教授するのにふさわしい者が担当しているか。	4	
25	実習科目の目標・内容に見合った実習施設を確保しているか。	4		
26	実習施設は学生の看護実践を支援する体制を整えているか。	3		
27	実習指導者は実習要項をもとに、実習指導案を立案・実施・計画しているか。	3		
28	実習指導者と教員は役割分担を明確にして指導しているか。	4		
29	学生からケアを受ける対象者に説明を行い同意を得ているか。	4		
30	実習中の不慮の事故等に関しての、保険等の対策を取っているか。	4		

大項目	評価対象項目	小評価	評価	
III 教育課程・経営	<p>教育課程・理念・目的・目標は整備され学生にも周知しているが、学生の最終評価は実施できていない状況である。3ポリシーについても策定と公開ができる様に調整整備を進めている状況である。</p> <p>複数学科を有する当法人の特性を踏まえて次年度より多職種連携に取り組む準備が整った。社会のニーズを考慮した科目設定は2022年度の改定に向けて準備段階である。</p> <p>指定規則を遵守した単位・時間設定がなされており、授業計画も年度末に教務会議を開催し次年度に向けて確認している。研究授業など前向きな取り組みに尽力する必要がある。</p> <p>年度初めにはキャンパスガイドを活用し、年間に学ぶカリキュラムについて確認し、科目開始時には担当講師から学生に科目のねらいを説明し、授業への参加・評価方法まで確認できている。教員の自己研鑽は、保障されるシステムが構築されている。また科目の専門性や実績を考慮し、専門性が発揮できるよう見直している。</p> <p>実習に関連した事項は担当者が協議し毎年見直しをかけており、施設担当者とも会議を持ち体制の見直しが行われている。また実習指導者と教員は協議のもと役割分担し、学生指導ができている。</p> <p>総合保障制度WILLに加入しており学生を守るシステムが稼働している。</p>			
IV 教授・学習・評価過程	31	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生の学習成果を考慮して科目が配置されているか。	4	3.4
	32	授業内容は精選され学生のレディネスに沿って構成されているか。	4	
	33	授業形態（講義・演習・実習）は、授業内容に応じて選択されているか。	4	
	34	授業展開に用いる指導技術についての考え方は、学生が主体的に考え学習する事が可能な授業形態が導入されているか。	3	
	35	学生に対して効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか。	3	
	36	評価計画を立案・実施しているか。	3	
	37	評価結果に基づき、実際に授業を改善しているか。	2	
	38	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか。	4	
	39	単位認定の評価には公平性が保たれているか。	4	
	総評	<p>授業内容や形態に関しては、系統立てて構成されており教員間で相談・意見交換している。全体の授業ではグループワークを取り入れるなどし、考える力を高めている。</p> <p>年度末には学年会議や単位認定会議を開催し次年度に繋げることができる。しかし授業評価や見直しは個人任せであり組織だったシステムが稼働していないため早急に検討する必要がある。</p>		
V 経営・管理過程	40	養成所の管理者は教育課程経営についての考え方を明示しているか。	4	3.7
	41	養成所の管理者は養成所の管理運営等についての考え方を明示しているか。	4	
	42	教職員は養成所の設置者と管理者の考え方を理解しているか。	4	
	43	養成所の組織体制は、教育理念・教育目的を達成するための権限や役割機能が明確になっているか。	4	
	44	意思決定システムが明確になっているか。	4	
	45	意思決定システムは、組織構成員の意思を反映でき、決定事項が周知出来るように整えられているか。	4	
	46	教職員の資質の向上については教育理念・教育目的達成との整合性があるか。	3	
	47	財政基盤を確保することについての考え方が明確であるか。	4	
	48	教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解しているか。	4	
	49	管理者の考え方に基づいて、設備整備計画を立案し、実施しているか。	3	
	50	専門教育に必要な施設設備を計画的に整備しているか。	4	
	51	学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備しているか。	3	
	52	火災及び自然災害に対する体制を整えているか。	3	
	53	学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えているか。	3	
54	支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けているか。	4		

大項目	評価対象項目	小評価	評価
V 経営・ 管理過程	55 学生の安全の確保、個人情報の保護のための体制が整えられているか。	4	
	56 教育・学習活動に関する情報提供を保護者に行っているか。	3	
	57 保護者への情報提供は保護者から協力・支援を得ることに繋がっているか。	3	
	58 養成機関としての存在を十分にアピールする広報活動を適切に行っているか。	4	
	59 養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中長期計画、短期計画、年間計画を立案しているか。	3	
	60 運営計画の実施・評価は将来構想との整合性をもっているか。	4	
	61 自己点検・自己評価の意味と目的を理解しているか。	4	
	62 自己点検・自己評価体制を整え運営しているか。	4	
	63 自己点検・自己評価は養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックするように機能しているか。	3	
	64 自己点検・自己評価は養成所の教育理念・目的・目標の維持、改善につながるように機能しているか。	2	
65 自己点検・自己評価の結果を公表しているか。	4	4	
総評 養成所の管理者は運営協議会や教務会議の場で経理・運営等について公表、明示しており、教職員は職務分掌や学則を理解している。意志決定システムは就業規則に掲載され明確であり、決定事項が周知できるように整えられている。教職員の資質の向上については、目標管理シートの作成と評価・面談により教育理念・教育目的達成との整合性が保てるように管理されている。財政基盤の成り立ちは学園運営協議会で内容が公表され教務会議で周知されている。施設設備は定期点検により修繕整備され運営管理されている。災害管理としては、学生分の防災グッズを整理し備蓄をしている。しかし、防災規定が十分整備されていないため、今後整備を行う。キャンパスガイドの作成・見直し・配布説明により学生生活の支援体制が整えられ、それを用いたガイダンス等により周知され学修の継続を助けるために用いられている。個人情報保護のためにPCウイルスソフトをインストールしているが、USBの使用など高い安全性は保てて居ない現状は続いている。情報提供は保護者会を通じ速やかに行われており、保護者からの喜びの声が聞かれ、協力・支援を得ることに繋がっている。人口動態にける受験者数を分析し、学校運営の中長期計画、短期計画、年間計画が立案され実践している。また、年間を通して計画的に高校訪問を行い、進路担当者と連携をとり広報活動がなされている。学校運営は法人内で審議計画され、将来構想と整合性がたもてるように運用されている。自己点検・自己評価は4年目となり、話し合いは行われているが、カリキュラム運営、授業実践へのフィードバックは完全とはいえない。自己点検・自己評価は、ホームページで公開している。			
VI 入学	66 教育理念・目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べているか。	4	4
	67 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性および教育効果の視点から分析し、検証しているか。	4	
	68 入学希望者への開拓への取り組みはなされているか。	4	
	総評 学校のホームページ、募集要項に学校の理念や求める学生像を明示し、選抜方法についても明示している。入学者の推移を毎年集積し、データベース化している。今後も引き続き入学選抜方法の妥当性を検討していく。オープンキャンパスやユマフェスを定期開催し開拓に取り組んでいる。高校ガイダンスでも学校紹介を行い広めている。		

大項目	評価対象項目	小評価	評価
VII 卒業・就職・進学	69 卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っているか。	3	3.4
	70 卒業時の到達状況を分析しているか。	3	
	71 卒業生の就業・進学状況・国家試験合格状況を分析しているか。	4	
	72 卒業生の就業先との情報交換や調査の実施等が出来る体制を整えているか。	4	
	73 卒業生の就業先での情報を把握し、問題を明確にしているか。	3	
	74 卒業生の支援体制を整えているか。	3	
	総評	卒業時の到達度状況は学業成績および実習経験録により捉えて分析している。またOSCEの授業にも反映させている。国家試験に関しては、毎年データ化している。少人数化し外部組織を活用した対策講座を行い、また、補講も加えることで合格率向上に努めている。就業先との情報交換は担当者間で意見交換されている。就業先は施設からの進捗状況報告を受けたり、訪問時に様子を聞いている。卒業生の支援体制については個々で成り立っているが今後は全体として一本化をし体制を統一していく。	
VIII 地域社会／国際交流	75 地域社会との連携に向けて、地域のニーズを把握しているか。	3	3.1
	76 教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っているか。	4	
	77 養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか。	4	
	78 国際的視野を広げるための教育内容を設定しているか。	4	
	79 海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えているか。	2	
	80 留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えているか。	2	
	総評	地域社会との連携に向けて県内で開催される各種会議や研修を通して把握に努めている。ボランティア活動は実習病院のボランティアに参加している。災害授業の講義演習を通して災害時に地域に協力できるよう教育している。地域に向けて学園グループ合同で高校生対象としたフェスを実施しているが、今後は地域に広げていく。 留学生の受け入れや留学生等に関しては実績は無い。しかし担当者は決まっておりいつでも稼働できる状態である。今年三重県の看護教員養成講習の教員実習生2名を受け入れた。	
IX 研究	81 教員の研究活動を保証（時間的、財政的、環境的）にしているか。	3	3.3
	82 教員の研究活動を助言、検討する体制を整えているか。	3	
	83 研究の成果を発表しているか。	4	
	総評	教員個々は授業がない時は、実習現場へ出て指導し多忙であるため、積極的には行えていない。しかし、研究活動は申請し承認を受ける事で保障されるシステムが構築されている。研究に対する助言などのシステムは構築されており、共同研究も行なわれている。研究は看護学校協議会学会で継続して発表を行なっている。	

項目	H
I 教育理念・目的	3.8
II 教育目標	3.5
III 教育課程・経営	3.8
IV 教授・学習・評価過程	3.4
V 経営・管理過程	3.7
VI 入学	4
VII 卒業・就職・進学	3.4
VIII 地域社会／国際交流	3.1
IX 研究	3.3

自己点検・自己評価

